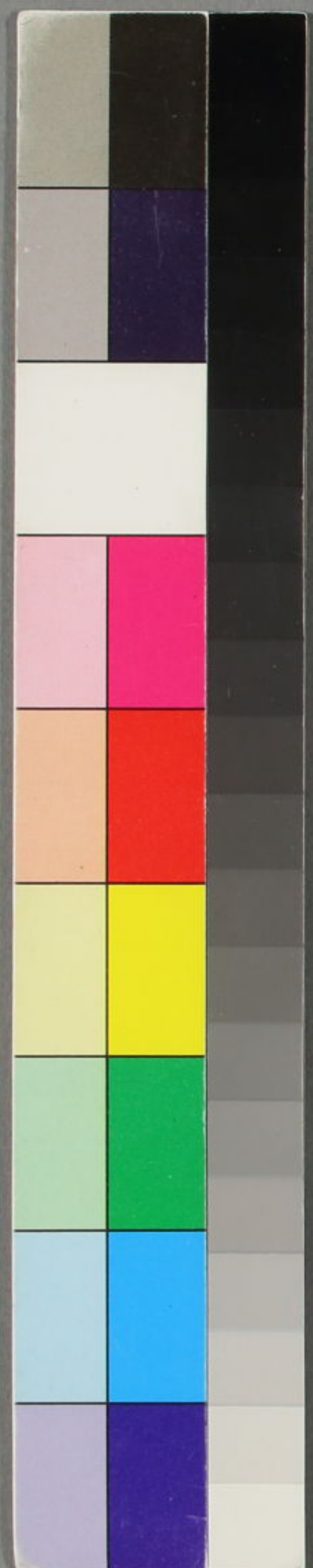


洛陽名筆集 上



洛陽名筆集目錄

藤木甲斐

賀茂

蓮光院

真如堂

龍善院

比叡山

春深

高野山
西方院

北小路宮内

堀江治部齋

巽甫

鳥山孫兵衛

荒木素白

内膳

道教

大石三右衛門

佐々木志須磨

七兵衛

雲竹

北向八郎右衛門

正惠

里尾庄六

村井了設

賀茂

石川大山

九近

由慶

河只郎兵衛

那波木菴

圓常

和田源七

草春

尾片宗鑑

平野仲菴

八木利齋

利兵衛

寺田無禪

西池備中

賀茂

水尾民部

米川常伯

三右衛門

藤田友閑

里根喜兵衛

西村方石

藤木甲斐

仙洞悉領百千眷屬皆住極果

聖人譬如栴檀之林唯有栴

檀圍繞亦赤鬚而手捧玉鉢有

白足耳掛金環

少少
 減
 痛人
 一
 痛人
 一
 痛人
 一
 痛人

[illegible]

蓮光院

此乃公之志也
 乃公之志也
 乃公之志也
 乃公之志也
 乃公之志也

落花狼籍風狂後啼鳥新鐘雨打時

鄮
濁

晚
夢
尚
開
如
聯
福
和
局
初
結
自
是
夢
新
遊
人
言
爲
來
北
宇
上
空
庭
初
得
夢

たきい いきり もとせやまふくし
いぬはふれ ろくちやふふ

款冬

點着雌黃天有意款冬 諸綻暮春風
書窓有卷相收拾紙無又束成り
かひやう おみなんやふふけふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふ

龍善院

自是三千

第一名

内家叢書獨

分明

芙蓉殿上

中間日

水柏銀盤

走化生

春深

尋得桃源好避

情桃紅又見一年

春花飛莫遣隨

疏水怕有漢郎

來問律

得書中
知所
知所

是乃其由
 中乃其由
 乃其由
 乃其由
 乃其由
 乃其由

ゆは久ふ能富新
はるあゝは地回
おちかたきあま
そゝ楽一あゝん
ひあまをあしあ
あゝあゝあゝあ
乃あああ

あゝあ

あ

北小路富

天夜と筒入世

おしあゝあ

あああ

あゝあああ

東の門西の門

いふ度い

寺社の田舎

いふの

たぐひの

いふの

堀江治部

壘迄初境入高橋

恒落秋江徳義風

殊如未收海心勅

越中自說

しるし

あま

あま

鳥山巽甫

観る多哉

同矢

半木坊一鑑

其心之
形其
形其
形其

其心之
形其

其心之
形其

の南無に 尊の

江
石
川

親睦の会

市婦のちるるる

[illegible]

つる目名

ちまふち、ちまふ

しねんた

あつあつ

あつあつ

む

荒木素白

あつあつ

たまふち

うた

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

大石道教

かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは
かきつゝのうらみは

かきつゝのうらみは

かきつゝのうらみは

かきつゝのうらみは

かきつゝのうらみは

茅 終 山 の

い ま

ろ め る

入

ろ 人 終

う れ も

あ ぬ

枕 之 木 志 湊 磨

漢 主 手

呼 喚 不

駢徐君

塚上廬

猶懸

安事乎

名

おのれ
なまは
おのれ

おのれ
おのれ
おのれ

先口上祝
名至打
知之故
物

口上祝

名至打
知之故
物

此乃心之真性
不為外境所動
如如不動
如如不動

北向雲竹

無諂曲以求人意之復不為諸根所牽行少欲者心
則坦然無所憂畏觸事有餘無常不足有少欲
者則有涅槃是名少欲 汝等比丘若欲脫諸苦
惱當觀知足知足之法即是富樂安隱之處知足
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜

鳥獨

かきくけこ

さ

しき

ふ

い

え

う

け

生於

曉華曉月

出常

村井了設

冬像雅經

しやれしやうしやうしやうの
うしやうしやうしやうしやう

ちつぢるるぢ

きちのゝあふまはるる甘ん橘
あふまはるるあふまはるる

